

幸福実感日本一（政策）職員提案制度の応募状況等について

平成 25 年 10 月 23 日
総務部行財政改革推進課

幸福実感日本一（政策）職員提案制度の応募状況等について、次のとおり報告します。

1 テーマ部門

- (1) 応募提案数 24 件
- (2) 各部局選考結果
- | | |
|------|-------|
| 採用 | 1 提案 |
| 部分採用 | 13 提案 |
| 保留 | 1 提案 |
| 不採用 | 9 提案 |

※ 各応募提案等については別添「応募提案・選考結果一覧」参照

- (3) テーマ設定担当課による事業への反映
テーマ設定担当課が次年度事業への反映を検討。

- (4) 今後のスケジュール
2月 最終確定状況を取りまとめ

2 自由テーマ部門、一口政策提案

- (1) 応募提案数
- | | |
|---------|-------------------|
| 自由テーマ部門 | 25 件 |
| 一口政策提案 | 53 件 (9 月 30 日現在) |

- (2) 担当課による事業への反映
提案のあった内容に応じた担当課が、次年度事業への反映を検討。

- (3) 今後のスケジュール
2月 事業の参考とした提案について取りまとめ

【別添】応募提案・選考結果一覧

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
1	防災対策部	01_三重県職員居宅の耐震化及び家具固定の促進について	<p>「無事故無違反チャレンジ123」を応用して、耐震化や家具固定を後押しする。</p> <p>3人でチームを組んで参加登録し、耐震リフォームや家具固定を実施する。参加費を使って賞品を用意し、メンバー全員が実施したチームの中から抽選で当選を決める。</p> <p>また SNS や町内会といった場で、あるいは親戚や友人に対して実施内容をふまえて耐震化や家具固定の啓発を行った場合には、別に特典を用意する。</p>	部分採用	職員や県民の皆さんへ、耐震化や家具固定の必要性等を情報発信していく際に、職員にも協力を求め、職員の持つSNS等のネットワークの活用を図ることについて、今後の事業の参考とする。
2	戦略企画部	02_20年後の三重県を見据えた政策課題と解決の方向性	<p>20年後の三重は、TPPのスキーム如何にかかわらず、農林水産業の集約化、大規模化を大胆に進め、法人の参入を積極的に認めるなど「攻めの農林水産業」で競争力を確保することで食糧自給率を現状より5%以上低下させないとともに、原発事故で忘れ去られたCO2排出削減に資する水力・風力発電や太陽光発電への産業転換を支援し、国と一体でメタンハイドレードの安価な採掘・貯蔵技術を確立して、雇用の確保を目指す。</p> <p>また、今後増加するインフラの再整備等の選択と集中、空き家対策等をインセンティブとして、公共交通機関の整備や住居移転への補助等で、津波・防災対策の実施とともに、行政サービスを低下させないようコンパクトシティを目指すべく政策誘導する。</p> <p>さらに、超高齢社会は健康、福祉、医療、介護等の新たなビジネスチャンスであり、地域ごとに20年後の産業ポートフォリオを作成するとともに、県は第1次、第2次産業からの転職者の支援を行う。</p>	採用しない	既に顕在化している課題であり、今回の提案で求めている「未だ顕在化していない中長期的かつ部局横断的課題」には該当しない。視点について今後の参考とする。

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
3	戦略企画部	03_あなたの悩みをカタチにしよう！	高齢者偏在型ではなく、高齢者と子育て世代が支え合う持続可能な中福祉の社会保障制度を再構築するよう国に提言を行うとともに、合計特殊出生率により金利が上乗せされる「子育て支援特例債」（仮称）の創設や子育て支援係数を使った企業への税の優遇、給付型奨学金の創設、子どもの数に応じた住宅政策などからなる「三重子育て支援総合特区」の創設を国に求め、三重では県民みんなで子どもを育てていく。	保 留	提案内容について少子化対策総合推進本部での検討を依頼することとする。
4	総務部	04_みえ成果向上サイクル・オールインワンシステムの職員への定着に向けての効果的な取組	みえ成果向上サイクルに基づくマネジメントサイクルを個々の職員レベルで回せるように、オールインワンシステムの中の組織マネジメントシートを職員レベルにブレイクダウンした「職員マネジメントシート（仮称）」を設け、県職員育成支援のための評価制度とも連動させる。	部分採用	提案の趣旨にあうような運用について職員へ周知する。
5	健康福祉部	05_子育て家庭への支援について	外出が億劫となり、ひきこもりがちになる乳幼児子育て期の女性に対し、県と企業、商店等が連携しながら、リユースでのベビーカーや、子育て情報バインダー、乳飲み子用ポット等を地域全体に設置しあうことで、三重県に対する好感度を高めながら、県内だけでなく県外からも、乳飲み子ファミリーの「おでかけ」動機につなげることを狙う。	採 用 しない	提案内容は「三重県子育て家庭応援クーポン事業」においてすでに実施している。

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
6	健康福祉部	06_がん検診受診率向上に向けた効果的な取組（啓発方法等）について	<p>企業に対して、従業員のがん検診の受診を条例によって義務づける。これに違反した企業からは納付金を徴収し、それを財源にして、達成した企業に報奨金を支給する。（障害者雇用促進法をベースに制度設計）</p> <p>義務化に対して企業の反発が大きく制度化が難しい場合は、従業員のがん検診の受診を努力目標として、未達および達成企業には、金銭以外のペナルティおよび優遇策を設け、受診率向上のためのインセンティブ付けをする。</p>	部分採用	受診率向上のためのインセンティブづけについて、次年度以降、県のがん対策に賛同いただける企業を対象に、意見交換等を行う。
7	健康福祉部	07_県民に必要とされる動物愛護管理センターのあり方について ～人と動物とが安全・快適に共生できる社会の実現に向けて～	応募なし	-	
8	環境生活部	08_高齢者を対象とした効果的な交通安全教育の実施	高齢者の交通事故死を減少させるため、県職員全員が通勤時や出張時だけでなく、休日の外出時等も含め、道路交通の現場において危険な交通行動をしている歩行中や自転車乗車中の高齢者に対し、その場で直接交通指導を行ったり、道路の横断等で困っている高齢弱者に対しサポートを行っていく、職員シルバーサポーター制度を創設する	採用しない	全庁的なコンセンサスを得る必要があること、予算措置等の課題があり、提案を今すぐ実現することは困難である。視点としては良いと思うので、今後の事業の参考とする。

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
9	地域連携部	09_平成33年度の国体開催に向けた県民への広報、PR方法について	応募なし	-	
10	農林水産部	10_農林水産物の輸出促進の取組について	<p>海外輸出ビジネスをソーシャル・ビジネスモデルで展開し、三方一両得で社会貢献していく戦略。</p> <p>海外輸出ビジネスを通して、社会的課題を市場としてとらえ、社会問題と経済問題を同時に救済し解決するソーシャル・ビジネスの事業展開を図っていく。貧困などの社会的課題の救済・解決を図るための取り組みを持続可能な経済事業として展開するソーシャル・ビジネスで農林水産物の海外輸出を通じた地域活性化を推進する三方一両得から、経営の安定化をめざし推進する。</p>	採用しない	具体的な事業内容のさらなる検討が必要である。
11	農林水産部	10_農林水産物の輸出促進の取組について	<p>本提案事業は、木材需要の旺盛な中国に県産材の販路を求め、その事業主体として林業・木材産業界の関係事業者で「三重県産材輸出振興協議会」を設立し、県が当該協議会をサポートするプロジェクトチームを結成して官民協働で中国販路の開拓を実現するものである。</p>	部分採用	提案の趣旨を踏まえて、課題解決に取り組み、木材の輸出につなげていく。

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
12	農林水産部	10_農林水産物の輸出促進の取組について	事業者への情報提供ができる体制を整える。輸出は、行政ではなく事業者が主体となることが理想である。三重県は、県内の事業者が輸出しやすい環境づくりを行うことが必要である。行政による円滑な情報提供は、事業者の輸出に関する意識を高めるだけでなく、輸出に対する不安要素をなくすことができるため、県内の農林水産物等の輸出促進へとつながる。	部分採用	輸出促進を図るための情報整理・分析などの環境整備は重要であることから、提案の趣旨を踏まえて事業実施の参考とする。
13	農林水産部	10_農林水産物の輸出促進の取組について	新しい市場を海外に求め収益性を高めようとする取組が注目されているが、輸出に意欲的な産地・経営体がうまく輸出の流通経路を獲得できたとしても、相手国の要求に応えるための試験、生産や輸送等に関する特別の技術対応が求められる。このため、生産現場でのこれらの課題を克服する取組に支援し、収益性の向上をめざすとともに、県域での協議の場を設ける。	部分採用	輸出促進を図るための技術・経営支援等順を追ったきめ細かな産地等への対応が必要であることから、提案の趣旨を踏まえて事業実施の参考とする。
14	農林水産部	11_農林水産業の新規就業者の確保・育成について	農業に関する情報が少ないため、若者等が就農するまでのイメージが持ちにくいことから、若者が気軽に農業を体験したり、農業の楽しさに触れることができる農業体験施設をつくる。また、就農後のサポート体制を充実させ、離職を少なくする仕組みとして、農者従事者のコミュニケーションの場となる交流拠点を設け、仕事上の課題解決を図る。	部分採用	農業従事者とのコミュニケーションがより進められるような仕組みを農業法人等と協創により作り上げるなど、提案の趣旨を踏まえて事業実施の参考とする。

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
15	雇用経済部	12_若者の就労支援:若者の力を地域の成長へつなげるために	応募なし	-	
16	雇用経済部	13_県の指定する伝統工芸品の産業としての振興方策について	応募なし	-	
17	雇用経済部	14_ソーシャルメディアを活用した観光情報発信	県のツイッター、フェイスブックのアカウントを担当する職員の裁量に任せる事で、レスポンスの良さ、また公的アカウントが意外な発言や雑談をするという「意外性」から、新規の客体を掘り起こしつつ情報発信が可能となる提案	部分採用	複数職員によるタイムリーな情報発信については、今後の事業の参考とする。
18	雇用経済部	14_ソーシャルメディアを活用した観光情報発信	ネット上の情報は24時間365日休むことなく閲覧・利用されており、SNSでの関心度の向上を期待するには、途切れの無い情報更新が必要である。このため、24時間体制で情報更新を行うとともに、その効果を計測する体制を構築する。体制は、外部人材の活用、アウトソーシングを視野に入れたものとする。	採用しない	県公式の観光情報発信は、第一に正確性を重視し、複数の県職員によるチェック体制を設けたうえで情報発信するものと考えている。外部人材活用等については、コスト面やリスク管理、運用方法等も含めて検討する。

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
19	雇用経済部	14_ソーシャルメディアを活用した観光情報発信	<p>一般的な情報発信アカウント同様、ブロードキャスト型の情報発信を行いつつ、定期的にコミュニティ型のイベントをツイッター上で開催し、新たなフォロワーの獲得、県の観光政策や観光施設に関するフィードバックの獲得、県の認知度向上を図る。</p>	採用しない	<p>県公式の観光情報発信は、第一に正確性を重視し、複数の県職員によるチェック体制を設けたうえで情報発信するものと考えている。</p>
20	雇用経済部	15_首都圏営業拠点を核とした首都圏営業の推進による三重県の認知度の向上	<p>三重の首都圏営業拠点を日本一有名にするため、その存在価値をグローバル化の中で国民並びに外国人の記憶に残す1つ強い印象を打ち込む方式「アー、あの、ナントカ●●の三重ね！」で強烈な残像を顧客の心に深く埋め込む首都圏営業拠点象徴化戦略。</p> <p>一般的に人は認識をワンポイントでしか記憶できない。全国及び世界を視野に三重の営業拠点の存在を認識してもらい、長く記憶してもらうには、オンリーワンの特徴で日本一有名にするため「印象の絞り込み」が重要。印象記憶のためには一点突破方式で強い記憶を残す企画で「アー、あの、●●の三重だ！」と想定外の強烈な印象を作りだし、「行きたい、また来たい」という顧客の自尊心を満たせるような渴望の仕掛けをプロデュースして、全国他県とは異次元の差別化で勝ち残る戦略。成果は、誰もが絶対にまねが出来ない企画運営で超魅力的なオンリーワン営業拠点の新価値を創造し構築する。</p>	部分採用	<p>具体的な情報発信方法のアイデア等について意見交換を進めながら検討していく。</p>

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
21	雇用経済部	16_関西圏における営業活動を進めるためのネットワークの拡大・活用	<p>関西事務所の位置づけは、戦略企画部として、ミッションを明確に「人材ネットワークづくり」とする。その上で、同事務所内の2～3名は、市町からの若手の希望職員を配置し、数年毎に交代していく。なお、所長は、単身赴任の部長級ではなく、30代の独身者を「公募」し、最適な人材を充て、大阪勤務を希望する20代、40代、50代の男女をバランス良く配置せよ。チーム・コンセプトは「忍びの衆」なり。</p>	採用しない	<p>関西事務所設置の目的は「人材ネットワークづくり」ではなく、そのネットワークを活用し、販路拡大や観光誘客等に繋げることである。</p>
22	雇用経済部	16_関西圏における営業活動を進めるためのネットワークの拡大・活用	<p>関西圏出身で三重県内に就学している大学生等によるネットワークを構築し、三重県についての印象や、住んでみての実感などを集約して、今後を活用するとともに、彼らの地元である関西圏における情報発信につなげていく。</p> <p>また、将来的には、彼らが関西圏の住人となる可能性も低くないことから、卒業後の活躍の場面における三重県の情報発信を期待する。</p>	採用	<p>関西圏出身の県内大学生等によるネットワークを構築するため、提案者とともに具体的に検討を進めていきたい。</p>
23	県土整備部	17_公共事業を担う職員の技術力を高める方策	<p>朝礼の実施 ～職員間のコミュニケーションの強化による技術力継承・向上のきっかけ作り～</p>	部分採用	<p>提案内容について、それぞれの職場での実施を促す。</p>

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
24	県土整備部	18_建設産業の必要性を周知するための情報発信の方策	応募なし	-	
25	教育委員会	19_新県立博物館を活用した教育のあり方	<p>子供から県民まで、生涯の生き甲斐づくりの中で自己実現と自分が成長し向上していく欲求を満たすために新博物館はトラディショナルだけれどクリエイティブでミステリアスな知りたい、学びたい欲望の満足度をかなり高めてくれる魅力的な創造的場所として教育的な活用がされることをめざし、学生が自ら「何度も行きたい」「また是非来たい」という学び語らい集うの場、刺激の場となる新価値創造館に構築していく。このため、学生や県民の顧客ニーズ目線で満足度を高め、顧客の自己愛を満たしていける企画プロデュースこそが必要。そのためには、人の心に楔を打つ予定調和を破る想定外の企画で「アー、あの●●の新博物館だ」と心に強烈に残像を印象付け「また行きたい」後味渴望意欲を高める価値訴求型の経営戦略を展開する。顧客ニーズ起点で博物館の存在意義をミッション化して、来館リピーターの増大をめざし、全国他所には絶対のないオンリーワンの差別化したオリジナル企画で、情熱的で魅力的かつインテリジェントでクールな有名スポットに形成して、勝ち残る経営を戦略する。成果は、誰もが絶対にまねが出来ない企画運営で超魅力的なオンリーワン博物館の新価値を創造し構築する。</p>	採用しない	方向性としては参考にする。

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
26	教育委員会	19_新県立博物館を活用した教育のあり方	<p>新県立博物館（以下、新博）の収蔵資料について、教育活動に活用できる資料のデータベースを作り、学校等の希望があれば貸出できるようにする。その際は、学校等が利用しやすいように、どのように活用できるのかの例示等の情報もデータベースに盛り込むとともに、資料の貸出ができることを積極的にアピールしていく。また、資料の扱い方等について、教職員向けの研修を新博が実施する。</p>	部分採用	データベースの構築は、計画中であり、教職員研修の在り方も検討する。
27	教育委員会	19_新県立博物館を活用した教育のあり方	<p>学校との連携のもと、博物館の特徴である実物展示や調査研究機関としての人材・情報を生かして、学校授業を支援する子ども向けの企画展や体験活動などを開催したり、子どもの考える力を養うため、展示方法を工夫するなど、学校が授業に利用できる博物館をめざす。</p>	部分採用	学校現場の教職員とともにプログラムを開発し、展示・企画を行う仕組みなどの構築を進める。

番号	設定部	応募テーマ	提案概要	選考結果	備考
28	教育委員会	20_子どもの体力向上	<p>子どもの体力向上には規則正しい生活習慣が必要であり、保護者の意識向上が必要不可欠である。</p> <p>このため、学校・家庭・地域が協力し、子どもの生活習慣を向上させる取組み（夏休みのラジオ体操、学校給食を利用した朝食体験など）を実施するとともに、体力測定を全学年で毎年行い、結果を通知することにより、保護者が生活習慣の重要性と体力向上に関心を持つ取組みを行う。</p>	部分採用	「体力の成長記録」の有効活用等、引き続き子どもたちの体力向上に取り組む。
29	教育委員会	20_子どもの体力向上	<p>福沢諭吉が「まず獣身を成し、後に人心を養う」と言ったように、体力の向上は、国や地域の活力、繁栄に欠かせない“人作り”にも直結する非常に重要な課題です。</p> <p>現代の不健康な大人をお手本に？だらしない生活習慣になってしまった子ども達を変えるには、①ショック療法的エモーションの注入 ②“動物”として理想的な生活習慣 の2つが不可欠と考えます。</p>	採用しない	提案内容はすでに「子どもの体力向上総合推進事業」において実施している。